

# SCOUTING

2022  
No.752  
11

特集

## 富士特別野営2022

これからのローバーリングについて  
先達に学ぶ、ボーイスカウト日本連盟100周年



SCOUTS®  
Creating a Better World



そなえよつねに  
ボーイスカウト



## CONTENTS

- 02 富士特別野営2022
- 06 これからのローバーリングについて
- 08 国内での国際交流を楽しもう  
～JOTA-JOTI～
- 09 第24回全国スカウトフォーラム開催予告
- 10 ボーイスカウトと遊ぼう!  
ワクワク自然体験あそび
- 11 「そとチャレラリー 2022」スタート!!
- 11 スカウトの夢
- 12 指導者の道
- 14 先達に学ぶ、ボーイスカウト日本連盟100周年
- 15 日本連盟創立100周年記念募金に  
ご寄付をいただいた方
- 15 信仰奨励
- 16 スカウトの日～ブラごみバスターズ大作戦～
- 17 第50回全国ボーイスカウト写真コンテスト
- 18 野外活動のための安心・安全講座  
久しぶりの冬場の活動は事故にご注意!
- 19 ローカルホットライン
- 20 維持会員
- 21 新春誌上名刺交換のご案内
- 22 訃報
- 23 スカウトショップ



# 富士特別野営 2022

2022年夏。初めて近畿圏での開催となった富士特別野営。  
18NSJの余韻も冷めやらぬ中、日本一の広さを誇る琵琶湖を臨む地に、  
全国から集結したスカウト15人。  
豪雨と灼熱の晴天とが目まぐるしく移り変わる中、  
過酷な自然に仲間と協力して立ち向かった5泊6日の模様をお伝えします。

参加者：スカウト9県連盟 15人/隊指導者・上級班長 宇都宇宙隊長(福岡) 他4人  
大会本部・スタッフ 29人

日程：2022年8月14日(日)～19日(金) 5泊6日

会場：近江神宮～高島トレイル～針江地区～琵琶湖～仏性野野営場～ボーイスカウト初野営の地



## はじめり

かるたの聖地である近江神宮に、北は宮城県から、南は福岡県から集いしベンチャースカウト15人。開会式の前に、隊長からスカウト一人ひとりに大会のネッカチーフが授与された。そんな彼らを突然の大雨が襲い、今大会のテーマである「水」を意識させられることとなった。

夕暮れ時に、開会式が執り行われ、富士特別野営第1隊が編成された。ライトアップされた楼門に見守られながら、スカウトたちはこれから始まるプログラムへの気持ちを新たにしているようであった。



## テーマ

今大会におけるテーマを「水」として、日本最大の湖である琵琶湖を中心としてプログラムを展開した。大会前半の高島トレイルを縦走するプログラムにおいては、生きていくために必要な水の大切さを実感しつつ、トレイルルート上の水場の状況を調査するというミッションを実行した。下山後は、針江地区において、「かばた(川端)」というシステムを見学することを通じて、水環境の保全活動を学んだ。最後に、移動野営の締めくくりとして、琵琶湖で自作の筏を用いて湖上移動した。

全行程を通じて、急激な天候の変化に伴う大雨に見舞われつつも、水とともに過ごした6日間であった。



## 水環境の保全活動

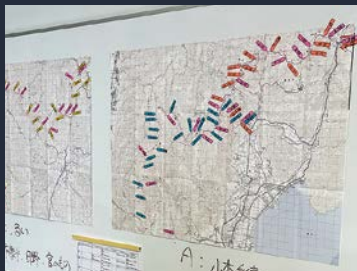
針江地区にて運用されている「かばた(川端)」は、日本国内だけでなく世界からも注目されている水環境の保全システムである。生水(しよず)という湧き水を各家庭の敷地内に引き込み、炊事や飲料として活用するシステムであり、コイやマスなどの魚に残飯を食べてもらったり、冷たい湧き水を野菜や果物などの冷蔵庫代わりに活用したりと、自然との共生によって成り立っていることを学んだ。スカウトたちは、実際に「かばた」を目にすることを通じて、水を大切にすることを学んだ。





## トレイルプログラム

滋賀県高島市の山々を結ぶ「山の道・高島トレイル」は、太平洋側と日本海側を分ける中央分水嶺の中で東西の中心にあり、さまざまな気候・植生の特徴を併せ持つ類まれなエリアとして知られる。全長80kmにおよぶ「高島トレイル」を4行程に分け、それぞれを3～4人の4班に分かれて踏破した。集合日に班ごとに移動計画を立てた後、それぞれのルートに分かれて入山した。山行は、豪雨と快晴とが絶え間なく切り替わる悪天候の中でのものとなった。水場の調査をしながらの山行であったが、多くの水場が干上がってしまっており、水の怖さと大切さを身にしみて実感したことであろう。



## 琵琶湖に漕ぎ出す

移動キャンプの最後の難関として、筏による琵琶湖の湖上移動に挑戦した。湖畔にて縛材とフロートを麻紐で組み上げて筏を作成し、個人装備をすべて積み込んだ上で、琵琶湖に漕ぎ出した。天候に恵まれ、穏やかな湖上では、これまでの苦勞がすべて吹き飛ばす程の爽快感を体験したことであろう。どんどん小さくなっていく陸地を横目に、皆で協力してオールを漕ぎ続け、着岸地点を目指した。最後に陸地が迫ってくると、沖に戻される水流を乗り越えて無事着岸に至った。





大塚蒼RS (滋賀、上級班長)

今回の富士特別野営2022は、私にとってとても長いものでした。開催期間は今年の8月中旬の7日間でしたが、私と本大会との関わりは2021年3月から始まりました。まず、今回の舞台である「高島トレイル」の下見をする必要がありました。私は滋賀県民でありながら高島トレイルについてよく知りませんでした。スカウトには高度な野営を体験してもらったため、ある程度の困難がなければなりません、生命に関わるものがあるとはならないため、危険箇所や水場などの確認は確実に行いました。大会が近づくにつれて運営スタッフも決まり本格的に始動しました。私も本大会では隊スタッフとして任命を受け、スカウトの行動に関して宿泊場所やルート、プログラム立案へ協力しました。

多くのスタッフの方々が時間をかけて富士特別野営を支えてくださいました。ベンチャースカウトにとって多くの学びや感動をもたらすものであったと思います。私は、この経験から自身のスカウティングや後輩スカウトへの指導に努めていきたいと考えます。



鷹田真音RS (山口、上級班長)

私は今回の富士特別野営に、参加スカウトが充実した「富士特別野営」だったと思ってもらえるよう全力で奉仕したいという思いをもって参加しました。今回はスカウトではなく、上級班長として参加させていただいたため、役職に恥じないよう、今まで習得した知識や技能を振り返り、存分に発揮できるように準備し、上級班長として参加しなければ学べないことをたくさん吸収したいという考えで臨みました。

実際に参加して感じたことは、多くの人の奉仕が当たり前ではなく、有り難いことであるということです。今回の富士特別野営を成功させるために、参加スカウト数を上回る奉仕スタッフのサポートがあり、上級班長として奉仕する立場になって見えたものがありました。また、リーダーシップをとることの難しさや、想定外の出来事への臨機応変な対応など、自分の至らない点を認識する良い機会になりました。今回の経験を糧に新たな課題を克服していきたいと思えます。



吉田汐里RS (東京、プログラム班)

富士特別野営へは3回目の参加でした。2017年はスカウトとして、2019年は上級班長として、そして今回の2022年はローバースタッフとして参加しました。

スカウトとして初参加した時には、やや過酷なほど手ごたえのあるキャンプを選抜スカウトたちとやり遂げた「達成感」を、上級班長として参加した時には参加スカウトの傍で励ましアドバイスすることで導く「自信」を得て帰りました。

そして今回は私がこれまで富士特別野営への参加で学び得たものをスカウトや上級班長にも感じてほしいと思い、それを陰で支えることを使命として参加しました。

実際にローバースタッフとして担ったのは、キャンプ場の整備やスカウトたちが行う筏ルートの下見、筏作成時の指導でした。

基本的には緑の下のスタッフですが、筏を結ぶ際にはスカウトと一緒に結び方を確認するなど交流も

あり、指導者や運営スタッフも含めた参加者の「絆」を感じることができました。



若城光希RS (京都、プログラム班)

私がスカウトとして参加した富士特別野営2019は、お互いの表情を見ることが出来て、食事は班の皆で鍋を囲み、大きなテントに寄り合って寝る、そんな当たり前のことができる大会でした。初めて出会うスカウトと組む班で班長を務め、数々の試練を協力して乗り越えながら絆を深め、最後に最優秀班に選ばれたときは達成感でいっぱいになり、かけがえのない仲間たちに出会えた非常に有意義な経験でした。

このような素晴らしい経験を後輩にもして欲しいと思いつつスタッフとして参加することを決意しましたが、今回は班活動に制限が多くスカウトが本来なら出来るはずの経験ができないのではないかと少し心配でした。

そうした中で私が心がけていたのは、「スカウトにより多く経験させる」ということです。スカウトが困っていたら代わりにするのではなく、アドバイスをして自分たちで考えさせる。当たり前のことですが、私たちスタッフはスカウトが全力でプログラムに挑めるよう安全を最優先にサポートをする存在だということを忘れずに行動することを心がけていました。

今回スタッフとして奉仕して多くのことを学び、また1つ自分を成長させることができました。



榊原孝治 実行委員長

今回は、富士特別野営が始まって以来、初の地方開催を目指して約4年前から準備を進めて参りました。日本連盟の野営場を開催地とするのではなく、全国からスカウトの参加を促す上で集合しやすく、富士特別野営としてふさわしいプログラム展開ができることを念頭に滋賀県の琵琶湖周辺といたしました。

プログラム想定に示しましたように、日本列島の背骨となる中央分水嶺でもある琵琶湖西側の山々を水源とした琵琶湖に育まれた歴史と文化を学び、スカウト諸君の技能を十分に発揮できるプログラムを設定しました。公共交通機関を活用して中央分水嶺沿いにある高島トレイルで4グループに分散して2泊3日の移動キャンプ、針江地区にある「かばた」文化を学習、安曇川河口の北船木入会地でのキャンプと筏作成、筏による湖上移動、最終野営地である仏性野野営場にて営火を囲んでの振り返りを実施展開しました。6日間の不安定な天候にもかかわらず積極的にプログラムへ取り組んでくれたスカウト諸君の達成感に溢れた表情を見ることができました。

開催地の滋賀連盟の方々には、多大なるご支援を賜り、プログラム開発およびプログラム展開をサポートしていただきました。そして、全国各地から本プログラムの運営を支えていただいた野営管理班と総務班の皆さま、特にローバースカウト諸君の下見・事前実踏査・パイオニアリングの指導及び野営場整備に尽力していただいたことへ厚くお礼申し上げます。

コロナ禍において全国のスカウトを集めた事業であり、多くの制約がある中で、当初の計画より一日短縮した実施でしたが隊スタッフの献身的なご奉仕により、スカウトの満足度は高く、所期の目的およびねらいは十分達成できたことをうれしく思います。

## 営火、閉会、解散

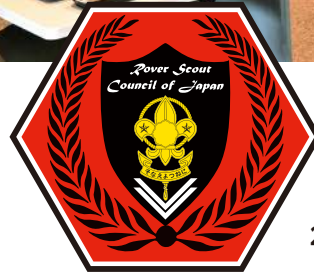
多くの先輩スカウトたちが活動してきた仏性野野営場にて、営火を囲みながら、スカウトたちはそれぞれが思い思いに本大会を振り返った。営火の火に見守られつつ、今後のスカウト活動に対して向き合った。

最終日の閉会式では、三日月大造・滋賀県知事からのメッセージが読み上げられ、スカウトたちにとってねぎらいと今後の活動を後押しするものとなった。

閉会后、スカウトとスタッフ全員で琵琶湖畔にあるボーイスカウト初野営の地である雄松崎に移動し、それぞれの思いを噛み締めた後に、年長隊富士野営の歌を歌うなど別れを惜しみつつ解散となった。







2022年度RCJ運営委員会

# これからの ローバーリングについて

## ■ ローバースカウト、ベンチャースカウトの皆さんへ

私たちローバースカウトは、いつの時代も「他者への奉仕」と「社会への奉仕」をしていく存在です。自身の持つ知識と技能を最大限に活用し、それらを奉仕という形で還元していかなければなりません。

もちろん、始めから大きなことに取り組む必要はありません。まずは自身ができることを、できる範囲で実践していくことが大切です。何をすればよいかわからないという時には、団や地区の先輩や同年代のスカウト、また県連盟のローバー組織や全国ローバースカウト会議（RCJ）県代表スカウトに聞いてみるができます。きっと、活動（=奉仕）のヒントが得られるはずです。

RCJは、すべてのローバースカウト、そして同年代の指導者が集う場として機能しています。わからないこと、悩みがあれば、ぜひRCJを活用してみてください。また、身近にいる成人指導者へ想いを伝えてください。私たちは、お互いに助け合う仲間となるでしょう。また、成人指導者の方は皆さんの想いに耳を傾けていただけるはずです。

時代の変化の激しいこの世の中で、その時代に即したより良いローバーリングとはなにかをみんなで考え、実践に移していきましょう。

そして、ベンチャースカウトの皆さん。ベンチャースカウト部門の後には、ローバースカウト部門へと続いていきます。18歳となり、成人としてスカウティングを続ける私たちは、これまでに経験してきたことを実際に社会へと還元していく必要があります。皆さんも間もなく、私たちの仲間となることでしょう。自分がローバースカウトとなった後、どのようにして社会へ貢献することができるだろうか、自身の心構えを固めていく準備をされていくことを願っています。

## ■ 成人指導者の皆さまへ

RCJは設立から11年目を迎え、これまでの10年間、ローバーリングの活性化を目指してさまざまな取り組みを行ってきました。時には暗礁に乗り上げることもありましたが、こうして11年目を迎えることができたのも皆さまのご支援の賜物だと思っています。

10年間の取り組みの中で、多くのローバースカウト同士の交流が行われてきました。それを実践し、奉仕の取り組みへとつなげていく必要があると私たちは認識しています。社会という大海原へ漕ぎ出し始めた私たちを、どうかより良き方向へと導いていただきたいと願っています。皆さまのアドバイスが、私たちの Good Resolution へとつながります。ローバースカウトが何を目指し、何を考えているか、これをローバースカウトからお伝えていき、これからはローバースカウト、成人指導者の皆さまが、相互にローバーリングの活性化のため協働していけたらと願っています。何卒よろしくお願い申し上げます。

## ■ 保護者の皆さまへ

ローバースカウトの姿を見かけたことはありますか。きっと、お子さまが所属されている団にも、ローバースカウトがいることでしょう。ローバースカウトは18歳から25歳までのスカウトで、教育を受けるスカウトの最終部門にあたります。私たちは、社会貢献を軸に活動を展開しています。そして、私たちも以前は小さなビーバースカウト、生意気なカブスカウトでした。今私たちは「あのローバースカウトのような立派な成人になってほしい。」と保護者の皆さまに感じ取ってもらえるよう、より良き活動を展開していかなければならないと強く心に思っています。

団にいるローバースカウトへ声をかけてみてください。「あなたは どうしてボーイスカウトを続けてきたのですか？」と。きっとにっこり笑って答えてくれると思います。





## ■ RCJ フォーラム 2022 開催決定

RCJ の今年度事業として RCJ フォーラムを開催します。RCJ フォーラムは2015年から隔年で開催されており、参加したスカウトが自隊に戻って活動をする際に役立つ知識や考え方を持ち帰ることができる「還元型」の内容を目指してきました。

今回のフォーラムでは、ローバースカウトが社会に対して何ができるかを考える「社会還元型」のフォーラムを実施します。

ローバースカウトは「ちかい」と「おきて」を生活の中で実践しながら、社会に対して奉仕できる精神力と体力を養い、creating a better worldを達成することを目指しています。スカウティングの原理である「他へのつとめ」を考える機会として位置づけています。

このフォーラムを通して、現状のローバースカウトの課題である「社会とのつながり」を意識し、社会のために個人レベルやグループなどでどのようなアクションを起こし、自らが奉仕していくのかということを今以上に意識していくフォーラムにしていきます。

詳しい情報は、日本連盟 Web サイトおよび RCJ Web サイトにてお知らせします。お楽しみに！

## ■ ローバースカウト活動の今

ローバースカウトは、各地域で自主的に活動しています。今回は、富山の事例を紹介します。

富山ローバースカウトの会 (TRK) は、県内に登録のあるローバースカウトまたは同年代指導者で構成された会です。現在は22人のメンバーで活動をしています。今回、TRK のメンバーに活動の様子を伺いました。

### Q 最近行った活動を教えてください

**A** 今年のゴールデンウィークから1か月間、1,000キロサイクリングを実施しました。各自が同じアプリをインストールし、離れていても一緒に活動に参加できる仕組みにすることにより、普段県外にいてあまり活動できないスカウトや、下宿先で活動することができないスカウトも参加することができました。富山では自動車がないと生活しづらいですが、自転車に乗る機会を作ることにより、普段見えない景色に気づくことができ、自然環境について主体的に考えるきっかけになりました。

### Q TRK新聞を月に一回発行されていますが、発行のきっかけを教えてください。

**A** 以前はさまざまな活動を展開していたのですが、コロナ禍で活動に制限がでました。しかし「家にもできるスカウティングとは何か」を考えた時、他県のスカウトが YouTube や SNS でおうちスカウティングの紹介をしており、私たちが県内のローバースカウトや他部門のスカウトたちの活動の手助けになる情報発信ができればと思い始めました。

### Q 今後、対面の活動が徐々に増えてくると思います。どのような活動を予定していますか？

**A** 今までできなかった他部門への奉仕や、雪国という特性を生かしたスノーキャンプなど、スカウト活動において楽しく学びながら奉仕することに重点をおいて活動していきたいと考えています。



富山ローバースカウトの会の皆さん



# 国内での国際交流を楽しもう

## ～ JOTA-JOTI ～

毎年10月第3金曜日から日曜日に、アマチュア無線とインターネットを活用したプログラムが展開され、世界中のスカウトが参加する JOTA (ジャンボリー・オン・ジ・エア)、JOTI (ジャンボリー・オン・ジ・インターネット) が開催されます。

来年度の年間計画につなげていくために、JOTA-JOTI 開催に向けた国内でのプログラム準備の様子をご紹介します。



### JOTA プログラム 準備の様子を見てみよう



アマチュア無線のプログラムでは、アマチュア無線従事者免許証の取得、無線機材の手配と設置、運用練習など多くの課題がありますが、無線の活動は進歩・進級との相性が良く、無線通信などの技能章取得や地域奉仕

での活動のきっかけにつながります。プログラムのきっかけとしてまずはアマチュア無線に興味を持ってもらえるよう、アマチュア無線の体験会「JOTA-JOTI Plaza」を開催しました。

### JOTA 体験会「JOTA-JOTI Plaza」(全国5か所)

2021年に電波法施行規則が改正され、有資格者の立ち合いにより、無資格者でもアマチュア無線の交信を体験することが可能になりました。



これにより、いままで隣で見ることしかできなかったアマチュア無線を体験できるようになり、JOTA の機会を通して全国でも体験局の運用が増えてきています。

日本連盟の主催する体験会は今年で3年目を迎え、全国各地から多くのスカウトそして、一般の子どもたちがアマチュア無線の体験運用を楽しみました。今年、全国5か所(東京[2か所]、愛知、大阪、鳥取)で開催した様子は、次号で詳しく報告します。

### JOTI プログラム 準備の様子を見てみよう



毎年プログラムを準備する中で、JOTIへの参加には「言葉」「技術」「プログラム」の3つの壁があるように感じます。しかしながら、一度体験すればその壁も少しずつ低くなり、いずれは突破することができます。その一歩を進んでほしいとの思いで、毎年、試行錯誤している指導者の方々が全国にいらっしゃると思います。

最初の一步を踏み出してもらうために、今年の JOTI では「JOTI オンラインセミナー」を開催しました。

### JOTI オンラインセミナー

JOTI のプログラム紹介のほか、JOTI でやり取りするための通信先を見つける方法、公式サイトへのプログラムエントリーの方法など、事前準備に関する情報をオンラインセミナーで紹介しました。初めてプログラムに挑戦しようと思っても、「何を」「どのように」準備したら分からないといった声に対し、日本連盟 Web サイトの中で映像資料を公開しています。来年度の準備に向けて、一度ご覧ください。

## 最初の一步を踏み出そう

### ／活動報告を受付中

気に入ったプログラムを何度も挑戦したくなるのと同じく、JOTA-JOTIに参加したスカウトは翌年のリピーターとなって、初めて体験するスカウトの良いお手本となってくれます。次年度に向けた準備に早すぎることはありません。最初の一步を踏み出して、来年の活動に向けて準備を進めてみませんか。

### 活動報告【報告期間：10月14日(金)～11月17日(木)】

今回活動された団は、ぜひその取り組みをお知らせください。各団、地区でのプログラムや取り組みの事例、当日の写真などは、来年度に向けた貴重な資料になります。

日本連盟 Web サイトの「参加報告フォーム」より、参加報告を受付けています。詳しくは日本連盟 Web サイトを参照ください。



<https://www.scout.or.jp/member/jota-joti-2022/>



## 第24回

## 全国スカウトフォーラム

開催予告

高校生年代のベンチャースカウトが全国から集い、「新しい100年」をテーマとした全国スカウトフォーラムを開催します。今年は、感染に留意した対面での開催に向けて準備を進めています。

## 日時

12月24日(土)～26日(月)  
2泊3日間

## 会場

神奈川県・川崎市青少年の家

## 参加者

都道府県連盟の  
代表ベンチャースカウト 各1人  
計47人

## テーマ

「新しい100年に向けて  
スカウトは何をすべきか」



## フォーラムとは

共通の興味のある問題に対して議論をしたり、ひとつの問題に対して討論して結論を出す公開討論会の中で、古代ローマにあった集会用の広場からその名をとったとされています。ボーイスカウトの世界では、1969年にフィンランドで開催された第22回世界スカウト会議において、スカウト運動に少年たちの声を反映させる目的で、世界的な取り組みとして「スカウトフォーラム」を開催していくことが決められました。

本連盟においても、「スカウトたちの声に耳を傾け、その意見をスカウト運動に反映させていくこと」を実践し、「青少年の意思決定への参画」の場として、現在2年に1度、全国スカウトフォーラムを開催しています。

## フォーラムから生まれた取り組み

- 第1回シニアスカウトフォーラムで『より良い社会を目指して、スカウトは何をすべきか』について討議されたことから、今なお続く「スカウトの日」の活動が始まりました。
- 平成22年12月に実施された第18回全国スカウトフォーラムで採択された日本連盟に対する提言を基に、スカウトが地球環境問題を理解し、環境に対する意識を向上させるために技能章「環境保護章」を新設しました。

## フォーラムの流れ

まずは、各地区や各都道府県でテーマに基づいて話し合います。各都道府県の代表スカウトは、話し合われた内容を全国スカウトフォーラムに持ち寄り、さ

らに議論を深めていきます。

全国スカウトフォーラムで話し合った内容を各地区や各県連盟へ持ち帰って報告をし、それぞれの地域の現状に合わせて取り組めるようにします。

## スカウトへの支援方法

代表スカウトの報告を受けて、各県連盟での取り組みを期待しています。フォーラムは話し合って終わりではなく、話し合いをもとにどのように自分たちの活動に活かしたり、実現していくことが一番の醍醐味です。ぜひ、フォーラムから帰ってからもスカウトの支援をお願いします。

第24回全国スカウトフォーラム  
フォーラム運営委員長の言葉

1974年、北海道で開催された第1回のテーマは「より良い社会をめざして、スカウトは何をすべきか」でした。ボーイスカウト日本連盟創立100周年に開催する第24回のテーマは「新しい100年に向けてスカウトは何をすべきか」です。

私は、この2つのフォーラムに大きな共通点を感じています。きっと、第1回に参加した諸先輩方は、今後のボーイスカウトのことを強く思って話し合っていたことでしょう。今回のフォーラムもこれからの100年を見据えて開催されます。私たちローバースカウト年代のフォーラム運営委員会は、全国の代表スカウトがこの機会を有意義なものとするよう努める所存です。

日本ボーイスカウト東京連盟  
多摩西地区 八王子第12団 RS 隊  
荒田 恭平

## ■ フォーラムの流れ

## 地区や県連盟



- 各地区や各都道府県の現状を基にテーマについて話し合います。



## 全国



## 地区や県連盟



- 全国のスカウト仲間と話し合った内容を各地区・各都道府県へ持ち帰ります。
- それぞれの地域で取り組めるようにサポートをお願いします。



ボーイスカウトとあそぼう！  
ワクワク  
自然体験  
あそび

今年度で3年目となる「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」は、年間を通じて実施できるようになりました。4月中旬より、多くの団、地区からエントリーいただいています。また、今年度は参加者の申込みシステムも一新し、よりわかりやすい操作で申込みできるようになりました。今年度は、一昨年より多くの会場での開催と、全県連盟での開催を目指します。今号では過去の実施データや開催状況から「開催のヒント」をお伝えします。

ヒント 1 /

実施内容は  
伝わりやすいワードが



- 探検、冒険
- 料理 [野外、ポップコーン、やきいも]
- 工作 [かかし、ペットボトルロケット、水鉄砲、割ばし鉄砲]
- 観察 [せみ、星空、くわがた等]
- 川あそび、カヌー、ザリガニ取り
- 農業体験 [芋ほり、落花生ほり]
- 忍者

ヒント 2 /

過去のデータを  
活用することで



- 実施数が多いほど入団者数は増加する
- 1回あたりの申込数を30人~40人程度にする

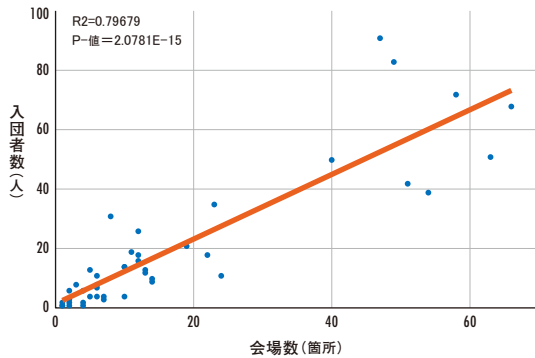
ヒント 3 /

インフォメーションも  
活用することで



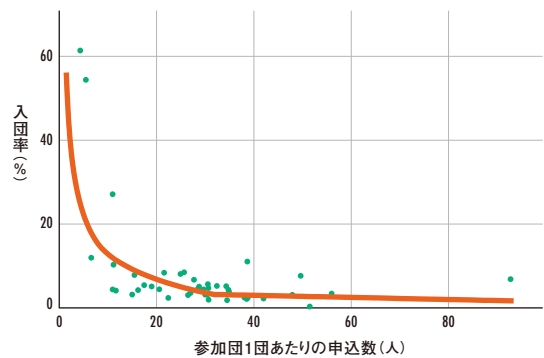
より詳しいデータや分析などは、日本連盟Webサイトのインフォメーション第1号（令和4年8月1日発行）に掲載されています。

グラフ1 ワクワクの会場数と入団者数の関係(2020)



グラフ1 は、2020年度の県別の開催数と入団者数の関係を示したグラフです。実施した団数と参加したことによって入団に結び付いた者の数は、統計的に有意差がありグラフのような相関があることが分かりました。(2021年度のデータからも同様の結果が得られています)

グラフ2 1ご団あたりの申込人数と入団率の関係(2020)



グラフ2 は、1ご団あたりの申込数と入団率の関係を示したグラフです。入団率は、申込み人数が少なければ少ないほど高くなり、参加人数が特に30人~40人程度を超えるとほとんど上がらず、逆に降下するという結果を表しています。これは、適正規模(30人~40人)を超えると参加者やその保護者に対してよりきめ細かいフォローができなくなるのが要因の1つだと思われま。 (2021年度のデータからも同様の結果が得られています)

この2つのグラフから、定員を30人~40人以下とし、複数回実施することが新規入団者を獲得するには最も効果的であるということになります。組織拡充には、地域におけるスカウティングの認知度を高めるという側面と新規入団者を獲得するという2つの側面があります。ワクワク自然体験あそびは、定員の設定の仕方によりどちらにも有用です。この記事をお読みいただいたみなさま、ぜひ、所属団での本事業の実施をお願いいたします。

重要なお知らせ

日本連盟では、事業に対する各都道府県・市町村の教育委員会などから後援名義を取得することを推奨しています。その際、チラシや後援の申請に「スカウト募集」を前面に出すと「公益性が無い」と判断され、申請が認められない場合があります。日本連盟が提供しているチラシフォーマットはそういったことを配慮して作成しています。事業を行う中で、保護者の方の興味と関心をボーイスカウトに向けていただくことや、保護者を集めてボーイスカウトの説明を行うことはできません。説明のポイントなどを含めて、ワクワク自然体験あそびの運営マニュアルに詳しく説明がありますのでご一読ください。



<https://www.scout.or.jp/member/wakuwakustaff2022/>





# 「そとチャレラリー2022」スタート!!

## ～ 募集事業などにご活用ください


### そとチャレラリー2022 実施概要

#### 期間

令和4年11月1日(火)～令和5年2月28日(火)

#### 展開方法

団でスタンプラリーの台紙を事前に準備しておき、体験活動に参加するお子さんたちにこれを配ることで、「次も参加したい」という気持ちをもってもらえるようにします。

- 1 団で、PR ツールダウンロードセンターから台紙を印刷しておきます 
- 2 自然体験活動に参加した一般のお子さんに、スタンプやシールで参加の証を記した台紙を配付します
- 3 「次の活動に参加したら、またスタンプが増えるよ」と忘れず伝えましょう

#### ポイント

#### 詳細について

参加方法の詳細や台紙の入手先、賞品ラインナップなど詳しくは日本連盟Webサイト内「そとチャレラリー2022について」をご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/member/taiken-challenge/>

11月1日から「そとチャレラリー 2022」という取り組みがスタートします。

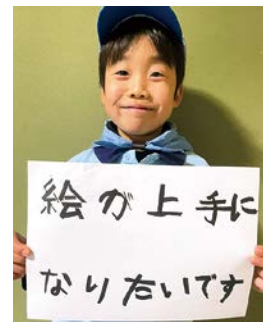
これは、独立行政法人国立青少年教育振興機構が中心となって、ボーイスカウト・ガールスカウトとともに「お外でリアル体験!!」をコンセプトにしたスタンプラリーを展開するものです。

文部科学省が、今年度を「体験活動推進元年」、そして令和6年度までを「体験活動推進重点改革3か年」と位置づけて、コロナ禍で縮小した「リアルな体験」の機会を全国で充実させていこうとしています。その流れの中で計画されたこの取り組みには多くの企業からの賛同も集まり、アウトドアグッズを中心としたさまざまな賞品を提供いただきました。

この「そとチャレラリー 2022」を、多くの一般のお子さんがボーイスカウトの活動に継続的に参加したくなるようなきっかけとして活用するのはいかがでしょうか。

例えば、ワクワク自然体験あそびに参加した一般のお子さんにスタンプラリーの台紙を配り、次回以降の隊集会への参加意欲の向上につなげるといったことです。この台紙は、PR ツールダウンロードセンターから入手できます。皆さんぜひご活用ください。(スカウトが取り組むこともできます)

## スカウトの夢



2021年10月から2022年3月末まで募集した「スカウトの夢」。全国のスカウトからたくさんの夢が集まりました。今年度いっぱい、「スカウティング」やWebサイトでご紹介していきますので楽しみに。

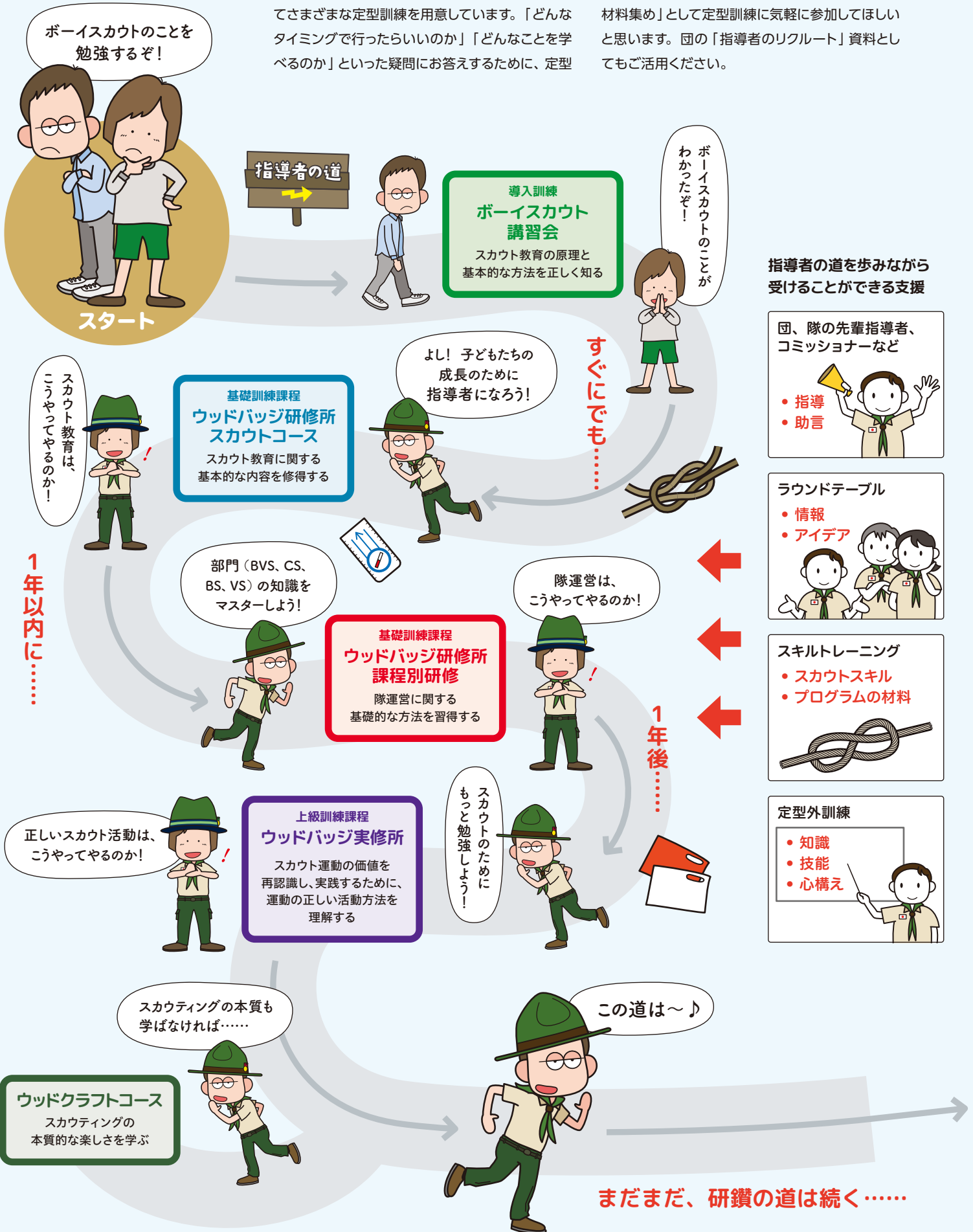




# 指導者の道

ボーイスカウト日本連盟では、指導者の皆さんがスカウティングの魅力が詰まったプログラムをスカウトたちに提供していけるように、研鑽の場としてさまざまな定型訓練を用意しています。「どんなタイミングで行ったらいいのか」「どんなことを学べるのか」といった疑問にお答えするために、定型

訓練を通して指導者が成長しながら、充実したスカウト教育が展開される「指導者への道」をイラストで表してみました。難しく考えず、「プログラムの材料集め」として定型訓練に気軽に参加してほしいと思います。団の「指導者のリクルート」資料としてもご利用ください。



まだまだ、研鑽の道は続く……



## クロちゃん 研修所に行く!

ウッドバッジ研修所スカウトコースに行った新人指導者「クロちゃん」。先輩指導者「スエさん」と、こんな会話をしていました……



スエさん

ねえねえクロちゃん、この前のスカウトコースはどうだった? 楽しんで来られたのかな?

ああ、スエさん…… 行く前はちょっと気が重かったんですが、行ってみたらすごく楽しめました。知らない人たちと3泊4日のキャンプ生活と聞いてうまくやれるかいろいろ考えちゃって……

でも、スエさんが「スタッフの人もいるし、そもそもみんな同じようにボーイスカウトの指導者になる目的で参加する人たちだから、一緒に過ごすことで得るものの方が多いと思うよ」って言ってきて、参加してみようと思えたんです。



クロちゃん

じゃあ、行って良かったね。

同じ班のメンバーも、大学生でスカウト経験のある人や、僕と同じくらいの子育て世代のお父さんやお母さんとか、ずっと年上の人もいて…… 最初は話が合うのかなと思っていただけ、すぐに仲良くなれました。3日目の夜のキャンプファイアが終わった後は、今夜がこのメンバーで過ごす最後の夜なんだって寂しい気持ちになって……「班の仲間」っていいですね。

行く前と全然違うね。スキルトレーニングでテントの設営とか立ちかまどを使っての炊事とか、面倒臭そうな態度だったし、実は心配してたんだよ。でも良かった。ロープは大丈夫だった? 苦手だったもんね。

それは言わないでくださいよ。

スキルトレーニングが嫌だった訳じゃないんですけど、テントを立てる練習ってちょっと気持ちが乗らないんですよ。ロープも同じで、ロープの結びができてもどう使っているかわからなかったんですよ。でもね、班の担当所員さんが班のサイトで役に立つロープ結びを教えてください、実際にゲームで使う結びを同じ班の人と練習したり教えてもらったりすると不思議と出来ちゃって…… 角縛りは何度も結んだのでもう完璧ですよ。サイトの乾燥台なんて1人で作れたんですよ。成長したでしょ。

それはすごいね。苦手なロープが得意になったんだ。じゃあね、来月のボーイ隊の班長訓練にインストラクターとして来てくれない? 人に教えることをすることってとてもためになるのよ。

いいですよ。今ならいろんな結びも覚えてるし、大丈夫だと思います。班長訓練では何をしますか?

来月はね、まさに「立ちかまど」だよ。夏のキャンプで2日で倒壊したから再チャレンジしたいって……。

それなら習ってきたばかりだし、コツも教えてもらったから何とかなるかも。でも来月までに予行演習しておきたいので、スエさん教えてもらえますか?



大丈夫、大丈夫。まだひと月あるし、今度のリーダー集会で「立ちかまど」を作ってみることにしてるからその時に来てよ。

そうですね。ぜひぜひ…… 宜しくお願いします。



そうだ、

この前ビーバー部門の副コミッショナーに会った時に、クロちゃんの課程別研修の課題のことを気にしてたよ。進んでるの?

今はビーバー隊の隊長に見てもらっています。一緒に活動しても隊長ハンドブックとかを読むと知らないことも多くて、いろいろ教えてもらっています。課題ができたならトレーナーの人に見てもらうことになっているんですが、次のラウンドテーブルの日に隊長と一緒に行くことになっているので、それまでにやらないと。

……がんばります。



そうそう……

団委員長から団内研修のこと聞いたでしょ。

この前の団会議の議事録で知りました。集まって研修会をするんですね。



隊の指導者たちから知りたいことや教えてほしい情報をピックアップして研修したり、教え合ったりしていこうっていうものね。

かしまって研修会をするのではなく、指導者が隊の活動を進めやすくできるように、団内で助け合ったりできたらという感じらしいよ。個別に集まるというのもいいのかな。

そういうのだったら嬉しいです。

今回スカウトコースで一緒だった人も来年には実修所に行きたいって言って… 僕もちょっと興味が出てきました。ビーバー隊の活動をしっかりやれたら挑戦してみようかなって思ってます。



うちの団はそれぞれの隊長に実修所の修了を勧めてるよ。クロちゃんも来年からビーバー隊の隊長だから、実務をする中でタイミングをみて参加することになると思うし、今から少しずつ準備をしていったらいいかな。

団内研修もあるし、私たちも協力するよ。

それは心強いです。

僕なんか実修所なんか縁がないところだと思っていただけ、道が見ついたら感じます……

まず課程別研修に行って、ラウンドテーブルにも参加して、少しは成長して参加できるようにしたいです。

クロちゃんの指導者の道はこれから……





# 先達に学ぶ、ボーイスカウト日本連盟100周年

ボーイスカウトの歩みを諸先輩方から教えていただく機会として、先達のお話を伺います。今回は、常務理事、総コミッショナーを歴任された杉原先達に、戦後のボーイスカウト再建についてお話をいただきました。

## エポック・数々の出来事の中から

日本連盟先達、東京連盟連盟長 杉原 正

日本のボーイスカウト運動の歩みは、戦前の少年団時代と戦後のスカウト活動に大別されます。1922年11月、各地で独自に展開されていた少年団活動が組織化され「少年団日本連盟」が結成されます。

1941年に太平洋戦争が起り、国策により既存の青少年団体を統合して、小学校4年生以上の少年少女から25才までの青年を対象とする「大日本青少年団」が結成され、この統合により少年団活動は一時休止します。

1945年8月、日本は太平洋戦争の敗戦により米・英を中心とする連合国軍によって占領され、サンフランシスコ講和条約締結までの7年間は、連合国軍総司令部（GHQ）、いわゆる「進駐軍」の統治下にありました。

終戦直後から少年団関係者や日系二世などによってGHQ・民間情報教育局（CIE）にスカウト再建への折衝が始まりました。

1946年12月、CIEから①ユニフォームを着用しない、②敬礼をしない（スカウトサインのみ）、③号令をかけない、④行進をしないことを条件に認可があり、翌47年から東京で5隊、横浜で1隊の実験隊の活動が始まります。

### 戦後におけるスカウティングのはじまり

私は12月、東京第4隊（東京港第1団）に仮入隊し、GHQ提供の米国の「スカウトハンドブック」「ソングブック」を用い、英語で“ちかい”を覚え、スカウトソングを楽しみました。

10年後の1957年、待望の「Scouting For Boys」の和訳本が出版されました。当時の三島通陽総長は（刊行にあたって）の中で“戦後再建された日本連盟としては、何をにおいても先ず第一

に、この本の訳本を出版させねばならなかったが、当時は英国からの図書の入手は極めて困難であり、経費の点からも実現できなかった”としており、当時の状況が示されています。また巻末では、総長と訳者の中村知先哲は「この本は、スカウティングの公分母で日本のスカウティングは公分子の活動であるから」として、この本の必読を勧めています。私は、この節目のとき、スカウティングの原点（原典）となるこの本を改めて再読、精読することを強く勧めます。

また、同時期に先人たちは、スカウティングの本流を極めたいと“Back to Gilwell”の歌を愛唱し、ギルウェル訓練所の訓練を日本で開設したいと熱望し、1957年5月、山中野営場で第1回日本ギルウェル実修所（スカウトコース）の開設が実現します。

参加者たちは、「スカウティングは楽しい」ことを体験し、「行くことによって学ぶ」ことを実践し、コース修了後に先人が教示された「野外は教室、自然が先生」をスカウトたちに伝播させ、大きな影響を残します。

歴史を想うとき、英国の歴史家E・H・カーの「歴史とは、現在と過去との対話である」の言葉が浮かびます。指導者訓練においても過去との対話は必須。指導者が学習すべき（知識・技能・心構え）をどのように学ぶかの訓練方式は、時代に流されることなく再構築していくことが肝要であります。

歴史と正対するためには、先ず、現在を凝視すること。その上で過去を改めて検証すること、そして現在と過去を踏まえて未来を洞察することが大事。次代を担う青少年を未来に誘うには、検証・凝視・洞察は欠くことのできない作業と考えます。

### ボーイスカウトと皇室の繋がり

1921年、昭和天皇が皇太子時代、訪英の折にB-P 卿と謁見され、スカウト精神とその教育法について話を聞かれています。その後、側近の人々に“わが国のボーイスカウトに火をつけたのは、自分だ”と話されていたことを、ご学友である渡辺昭総長から伺ったことがあります。

今上天皇は、浩宮親王殿下時代、英国留学前の1982年に南蔵王での第8回日本ジャンボリーにご臨席され、富士スカウトと共に2日間のキャンプを体験されました。その際、私は、渡辺昭総長から接伴隊長の特命を受けました。キャンプ後に殿下からのお話もあり、翌年の春に東宮御所で同じメンバーで2日間のキャンプをご一緒することになりました。

キャンプ終了の折、“スカウトキャンプは奥深いですね”との言葉を賜り、スカウターとしてこれを重く受け止めています。

このキャンプを契機に富士スカウトの東宮御所への参殿が始まったことを改めてここに記し、心から感謝申し上げます。

### 100周年のときに

100周年を迎えるとき、コロナ禍という試練に遭遇して疲弊の色が見えます。しかし希望があります。

創始者B-P 卿が終焉の地、ケニヤのニエリで、眠前のケニヤ山が自分に語りかけているという言葉「視野をより広く、より高く、より遠く、前を見なさい。そうすれば道が見えてくるでしょう」と残されています。

道があり、道が見えてくることを確信して、これからも共に進みたいと思います。



信仰奨励

礼儀正しさと感謝の心

白鬚神社宮司 今井 達

11月には、地元の神社やゆかりある神社などに参詣する七五三行事があります。神社ではお祓いを受けたあと神前に進み「二拝二拍手一拝」の作法で拝礼し、これまで受けた神様の恩に感謝し、変わらぬ加護を受けて良い人になるよう祈ります。

この「二拝二拍手一拝」は、最も一般的な神社参拝作法で、「お辞儀を2回 拍手を2回 もう1回お辞儀」として、宗教章の一つ神道章の指導基準にも含まれます(例外として出雲大社では拍手は4回です)。

作法は目に見えるものですが、神社を訪れるときのスカウトへの指導の場合は、これらの作法に加えて、「心掛け」も併せて覚えていただきたいものです。

【礼儀正しさ】神社に入る前には、人に会う時に身だしなみを整えるように、服装を点検してください。

続いて神社境内に入る時、鳥居や注連縄の内側は「神域」と呼ばれるところですので、一礼して進んでください。手を洗う施設(手水舎)があれば、そこで手を洗い口を漱ぎます。

心身共に清めたいうえで神様の前に進む。これらは神社だけでなく、他の寺院や教会にお参りするときも共通することです。ここで、おきての副文を思い出してください。

「スカウトは、規律正しい生活をし、目上の人を敬います。言葉づかひや服装に気をつけ、行いを正しくします。」

【感謝の心】神様の前で何を祈るか。冒頭の七五三の祈りに書いたように、これまで受けた神様の恩に感謝することを忘れないでください。

まずは、礼儀正しさと感謝の心をもって、お参りしてみてください。自分の家族の健康や商売繁盛だけでなく、人類の健康や繁栄、平和を祈ることが大切です。

何回も繰り返すことで、これらが当たり前ではないこと、そして「ちかい」と「おきて」の実践が信仰心を高めるものであるということに必ず気づくはずで。

「スカウトは、信仰をあつくし、自然と社会の恵みに感謝します。お礼の心で、自然をいつくしみ、社会に奉仕します。」

皆さんの信仰に合わせて、お参りの際や制服を着ていない普段の生活の中でも、これらのような「心掛け」を思い返して、行動の一つひとつを気にしてみてください。

日本連盟創立100周年記念募金にご寄付をいただいた方

目標額達成に向けて皆さまからのより一層のご協力をよろしくお願いたします。本募金は2023年3月末まで受け付けております。募金の達成状況については、特設サイトからご覧いただけます。https://100th.scout.or.jp/product/fundraising/

- 【北海道】 佐藤 満雄 岡田 一 野田 弘教 藤森 正 森永 巨子 佐藤 美文 間田 文子 鈴木 芳文 芳文 隆昭 佐藤 利高 山本 高正 津高 正 井上 章 安孫子 一彦 茨城 桐嶋 佳正 平澤 政 佐井 政一 新井 隆幸 金原 幸 齋藤 幸 群馬 荻原 幸 中村 幸 埼玉 藤原 幸 西田 幸 寺内 幸 宮根 幸 井上 幸 木村 幸 古澤 幸 亀井 幸 長谷川 幸 関原 幸 須藤 幸 佐藤 幸 高野 幸 中村 幸 近藤 幸 松山 幸 山本 幸 岩田 幸 粕谷 幸 新井 幸 代表取締役 栗原均 いそだ整骨院 磯田 貴弘 【千葉】 平野 善智 上野 真浩 野小 三塚 小川 山本 関山 針星 新行内 森村 中 史代章 一学 彦 陽 誠 正 真紀 真光

7月以降にお申し込みまたはご入金いただいた方のお名前を県連盟順に記載しています。7月は多くのご寄付をいただいておりますので、すべてを掲載できておりません。7月末頃からそれ以降にご寄付いただいた方につきましては、次号以降で順次ご紹介いたします。



# 2022年度 スカウトの日

## ～プラごみバスターズ大作戦～

実施期間

7月11日(月)～11月7日(月)

集中実施日

9月19日(月・祝)を基本として全国で実施



環境保全や環境美化をはじめ、スカウト運動が地域社会に根差した実践活動として「スカウトの日」、日本連盟創立100周年事業として「プラごみバスターズ大作戦」を全国で展開しています。9月は全国で台風や大雨などの自然の驚異にさらされた地域も多かったと思います。

今回は、2022年度「スカウトの日～プラごみバスターズ大作戦」の全国から届いている実施報告を紹介します。

## プラごみバスターズ大作戦の取り組み経過報告

### ■ 東京会場の開催 [9月25日]

東京・荒川の若淵水門(通称:赤水門)前の広場を中心に、毎年清掃活動している北第11団の協力を得て清掃活動を行いました。

当日は、前週末までの雨から一転、秋晴れの中での開催となり、127人にご参加いただきました。近隣の中学校のほか、セブン-イレブン店舗オーナーやスタッフ、セブン-イレブン・ジャパンの本部社員も加わり、地域一丸となって清掃活動を行いました。

ごみの量は少ないながらも、細かく分別して回収袋にいれたり、茂みの奥まで手を伸ばしてごみを拾うスカウトと子どもたちの姿がありました。活動の最後には、スカウトや子どもたちを中心に拾ったごみを分別して、どんなごみがあったか、どんなことを思ったかを発表してもらいました。

#### 子どもたちの声

- 初めての参加で、あまりごみは見つけられなかったけど、宝探しのような気持ちになった。
- もっと地球をきれいにしたなら、ダイヤモンドのようにキラキラするんじゃないかな。
- 自分だけが心がけるだけでなく、周りにもよびかけるなどしていきたいと思う。
- 花火の燃えカスやおもちゃの銃の弾も見つかった。遊んだらきちんと片づけて欲しい。
- 自分たちも無意識にごみを捨てたり、落としたりしているかもしれないから気をつけたい。



荒川を中心とした清掃活動に取り組むNPO団体「荒川クリーンエイド・フォーラム」の取り組みに賛同し、北第11団では30年以上活動を続けています。

### ■ 活動報告を受付中

今年は、「スカウトの日～プラごみバスターズ大作戦～」として、全国1,800団全てに取り組んでもらい、その成果を全国の団や地域社会に発信していきます。

投稿は、SNS「Instagram」と、例年同様にて特設サイトで受け付けます。「スカウトの日～プラごみバスターズ大作戦～」の取り組みを見る化して、社会に届けましょう。

#### 報告期間

**2022年9月5日(月)～11月21日(月)まで**

※各地の感染状況に応じて、活動の延期や中止の判断も含め、各団から報告をお願いします。

- SNS「Instagram」で、以下のハッシュタグをつけて投稿してください。

#スカウトの日2022

#プラごみバスターズ大作戦

## プラごみバスターズ大作戦特設サイト

スカウト向けのミッション動画や、指導者の方にご覧いただきたいプラごみバスターズ大作戦説明動画を、日本連盟公式 Youtube で公開し、特設サイトからご覧いただけます。全国での取り組み事例をニュースとしてご紹介しています。コンテンツと合わせて各団の取り組みをぜひご覧ください。みんなでこの地球を守る取り組みを始めましょう。

<https://plagomi.scout.or.jp/>



兵庫・  
神戸第16団



愛知・  
一宮第5団



# 第50回 全国ボーイスカウト 写真コンテスト

全国ボーイスカウト写真コンテストは、今年で50回目を迎えます。ボーイスカウト活動の基本の一つは「観察すること」。撮影を通じて、観察力を磨き、表現する楽しさを発信してみませんか。

昨年から導入したオンラインの投稿は、今年も継続します。投稿いただいた写真は、「スカウティング」や Web サイトなど PR 素材としてさまざまな場面で採用され、ボーイスカウトの魅力の発信につながります。皆さんの視点で捉えたすてきな1枚をお待ちしております。



第49回全国ボーイスカウト写真コンテスト  
少年少女の部 最優秀作品

## 応募要項

### テーマ 次の100年に残したい、ボーイスカウトの魅力

- 応募部門**
- ① 少年少女の部： **撮影者** が中学生以下
  - ② 青年成人の部： **撮影者** が高校生以上
  - ③ オンライン投稿の部： 撮影者の年齢は問わない

**応募方法**

部門①② 写真をプリントし、裏に応募用紙を貼って郵送してください。[プリントサイズ：サービス版以上 四つ切以下]  
応募用紙は日本連盟 Web サイト・当該ページから取得できます。

部門③ Instagram を用います。応募したい写真を自身の Instagram アカウントに投稿してください。  
本文に「写真タイトル、コメント」そして、「# ボーイスカウトフォトコン50 (半角数字)」というハッシュタグを必ずつけてください。

※同じ作品(写真)を、プリントでの応募と「オンライン投稿の部」両方への応募はご遠慮ください。

**応募可能点数** 撮影者ひとり5作品まで

**応募期間** 11月1日(火)～23年2月28日(火) 当日消印有効  
※オンラインの場合は2月28日(火) **正午**まで  
選考：3月

**結果発表** 『スカウティング』2023年5月号および日本連盟 Web サイト・写真コンテストページに掲載予定

**各賞** 最優秀1点、優秀2～3点、入選 最大10点 ※部門ごとに審査いたします。

## 応募上の注意

- 応募は本人が撮影した作品に限ります。必ず、撮影者本人の年齢に応じた部門にご応募ください。
- 他者(保護者や指導者など)が撮影したと思われる作品が、スカウト名義で応募されていることが見受けられます。「少年少女の部」において審査対象とみなさない場合がありますので、正しくご応募ください。
- 応募用紙への記載や発送は、できる限り撮影者本人が行ってください。
- コメントの記載漏れが見受けられます。審査の参考になりますので、記載内容に不備がないか確認してからご応募ください。
- 入賞者には、写真データの提供を依頼します。**応募用紙には連絡のつくメールアドレスを正しく記載してください。**  
なお、スカウト本人がメールアドレスをもたない場合などは、保護者等の連絡先を記載するなど、柔軟にご対応ください。
- 応募作品は、2022年1月以降に撮影した未発表のものが対象です。肖像権を有する人物および建築物などが写っている場合は、応募に際し、権利者(未成年の場合はその保護者)の了承を得てください。
- プリントでの応募の場合、応募作品は返却しません。
- 応募作品は、日本連盟の Web サイト、各種印刷物等に使用することがあります。



詳しくは、日本連盟 Web サイトをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/member/50thphotocontest/>



■ 野外活動のための安心・安全講座

# 久しぶりの冬場の活動は事故にご注意！

この冬は、数年ぶりにリアルな活動を計画されている隊も多いのではないのでしょうか。安全で事故のない活動を行えるように、十分な配慮はできていますか。

冬季は、雪に触れる活動を計画している隊があるかもしれません。雪に慣れていない地域の皆さんは特に、日ごろの活動に加えて、冬季特有の配慮が必要です。安全で楽しい活動のため、今一度計画を見直してみましょう。



Q

**BS隊でスキーに1泊2日で実施します。配慮する点がありますか？**

日ごろの活動と、基本的には安全面への配慮は同じですが、「事故(リスク)を未然に防ぐ」と「事故(リスク)を拡大させない」という両方を、しっかりと計画の段階で検討しておくことが大切です。

慣れない道具を正しく使用しなかったために事故やけがにつながる場合があります。それを防ぐためにも、自分に合った道具を使うことが重要です。たまにしか使用しないからと、サイズが合っていないものを無理に使用したり、場合によってはサイズがあっていないことに気が付かないこともあります。

サイズの合わない道具を使用すると、苦痛によるやる気の欠如、無理をすることで事故につながりますので、指導者だけでスカウトへの指導が難しい場合には、スキー指導員等へ協力依頼をすることも視野に入れておきましょう。

また、スカウト年代は突然、体調を崩したり熱を出したりすることがあります。コロナ禍で、活動場所近くの病院や、救急病院の受け入れ状況が異なることが考えられます。事前に宿泊施設に確認し、事故が発生した場合の指導者の動きと、雪道での搬送手段をきちんと確認するようにしてください。

Q

**久しぶりに活動するスカウトや初めて体験するスカウトに対して、配慮する点がありますか？**

無理のない活動内容や時間配分で計画をお願いします。あれもこれも欲張ったプログラムは、スカウトによっては無理をさせることにつながります。雪の上を歩くだけでも転倒しけがをすることがある中で、慣れない状況では、より一層「骨折」「捻挫」のリスクが高まります。「楽しかったけど、もっといろいろなことをしたかった」というイメージでプログラムの確認をお願いします。

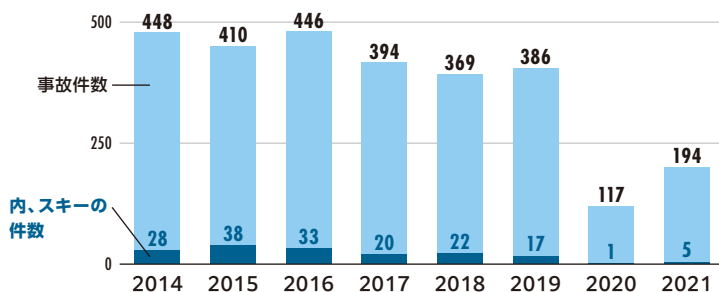
また、風雪など天候によっては、予想より体力を消耗し

ますので、寒さを凌げるスペースで休憩することが望ましいです。スキー場など公共の場では、占有できるスペースを確保する事が難しく、共有スペースを朝から晩まで占有されている方を見かけることがあります。教育の一環として、活動しているスカウトが思いやりのある行動を身につけるためにも、そのような場所を占有することがないように、小集団ごとに昼食や休憩時間をずらすなど、事前の下見などで細かくチェックをして計画しましょう。

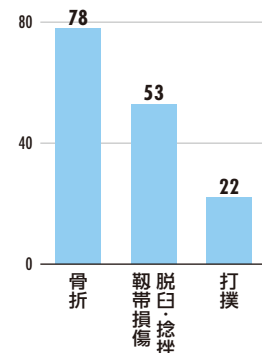
過去事例

過去10年間の統計によると、総事故件数に占めるスキー事故数はそこまで多くないものの、他の事故に比べてスカウトのけがの割合が高いという傾向が見られます。一方で、重度のけがが多いのは指導者というのもわかっています。雪の活動に慣れていないスカウトや指導者も多いため、より一層の配慮が求められます。

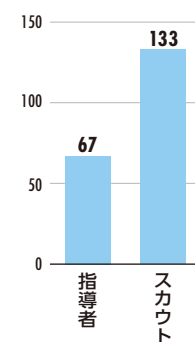
■ 事故申請件数



■ スキーにおけるけがTOP3



■ けが人の内訳



冬の活動に関連したチャレンジ章と技能章



活動を行う前に、スカウトと一緒に安全対策の策定をお願いします。スカウトの安全意識の向上につながるのと同時に、年代に応じて、「気づき」を得る場になるはずで、これからも安全に活動を行い、スカウトが「活動は楽しかったよ」と、元気に帰宅するように活動を進めてください。



ローカルホットライン

# Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- … 団
- ⊗ … 地区
- … 都道府県連盟
- ◇ … その他

## 岡山 ■ 18NSJ 岡山会場へ 伊原木隆太連盟長・岡山県知事が参加

岡山連盟 事務局長 見村 三吉

ジャンボリーの岡山会場へ、岡山県知事がかけつけてくださいました。雨の中、スカウトといっしょにテント設営や炊事を行いました。スカウトたちの元気なキャンプ生活にふれて、元気をもらったというお言葉をいただきました。テントでは虫の鳴き声が聞こえ、真夏なのに秋の訪れを感じ心が洗われたそうです。一緒に過ごしたスカウトたちも、県知事の貴重なお話を聞き、多くの学びが得られたようです。



## 岐阜

### 記事掲載

岐阜第11団 団委員長 高橋 晴美

団行事として富士山登山を開催し、みごと88人全員が登頂できました。これまで1年間の登山訓練の成果です。地元の新聞にも記事掲載されました。



富士山登山で88人全員が登頂したボーイスカウト岐阜第11団の隊員ら＝富士山山頂で（ボーイスカウト岐阜第11団提供）

### 夏の思い出富士山登山

岐阜市のボーイスカウト参加者全員登頂  
岐阜市黒野地区を拠点とするボーイスカウト岐阜第11団の隊員らが二十三日、二十四の両日、富士山登山を行った。参加者八十八人全員が登頂し、夏の思い出を刻んだ。

四、五年ごとに富士山登山を実施し、今回で五回目。小学一年生から中学三年生までの子どもと、保護者や高校生らが参加した。二十三日早朝に岐阜市黒野の光順寺付近からバスで出発し、昼ごろに静岡県側の富士宮口五合目から登り始めた。九合目の山小屋で一泊し、二十四日は午前二時ごろに起床し、山頂を目指した。子どもたちは眠い目をこすりながら、午前四時半ごろに頂上で御来光を迎えた。復路は御殿場口新五合目へ下山した。

二十四日夜に光順寺に戻った隊員らは、登頂記念カードと富士山の絵が入ったタオルが贈られた。リーダーの平光孝さんは「大きな経験と実績はそのカードに収まっています。寒かったね、眠かったね、苦しかったね。その思い出のカードを大切にしまっておき、『ぼく頑張れるじゃん』と思いついて」と子どもたちをねぎらった。

黒野小二年の池田愛梨さん（左）は「登りは大変だったけど、下りの砂の部分はクッションみたいで早くおりました。楽しかった」と話した。（大沢悠）

中日新聞（2022.7.26）



## 熊本

### 宇城地域ボーイスカウトによる ウクライナ支援募金の寄付について

宇城第1団 団委員長 岡本 光昭

ボーイスカウト宇土第1団・宇城第1団は、7月24日（日）に、ショッピングセンター「宇土シティモール」において、ウクライナ紛争による人道支援のための募金活動を行いました。集まった募金は、赤十字を通じてウクライナの人々のために使われることを願い、日本赤十字社熊本県支部に寄付しました。



維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

ご支援ありがとうございます

2022年 7~8月度

【北海道】

北 秀継
市場 尚延
経森 教好
徳永 教好
嶋下 泰久
樟本 賢首
寺迫 公裕
B S 千歳 1
北見BS育成会
BS札幌地区委員会

綱島 宗和
霜田 豊
高橋 義雄
松村 正晴
川島 澄子
山本 英正
岩田 照恵
稲田 二部
寺田 昌哉
板倉 正典
新井 豪
堀江 誠一
石川 巖
須田 次義
寺田 典昭
和田 哲

根本企画工業(株)
エフエスサービス(株)
(株)新昭和
【神奈川】
仲戸川 勲
葉袋 豊夫
矢島 巖
山田 豊公
渡部 公
原 康夫
関戸 俊男
井上 延義
小野 康雄
作田 豊彦
吉原 滋彌
高橋 弘一
岡竹 一夫
本間 俊三
中川 玄一
伊藤 健三
太田 勉
藤本 欣司
窪田 雄一
石窪 一章
守屋 光高
相原 広幸
下田 正昭
境 紳隆
中川 和之
京増 敏彦
小山 貴司
井坂 裕一
前川 聡
伊藤 郁夫
落合 友幸
上野 晋一郎
竹内 和夫
海野 和俊
梅原 隆二
山本 明彦
宮本 宏志
伊地 知優
BS横浜131
BS横浜130
BS川崎46
久保井基隆
BS横浜65
BS伊勢原1
BS横浜94
BS川崎43
(株)古川工業
(株)ハセガワ
長谷川洋一

【青森】

黒澤 憲一郎
佐藤 正
葛西 俊人
入間 正智
和田 有平

新井 豪
堀江 誠一
石川 巖
須田 次義
寺田 典昭
和田 哲

黒澤 憲一郎
佐藤 正
葛西 俊人
入間 正智
和田 有平

【岩手】

佐々木 齊
千田 庄寿
諏訪 神社
(株)岩手銀行
(株)元持
(株)菱和建設
【宮城】
佐藤 元通
野中 孝三
芳賀 文蔵
菅野 五郎
荒井 嘉光

坂本 裕夫
樋渡 重和
菊池 清
角尾 雅也
栗原 均
石山 貴宣
田中 政司
男澤 望
高橋 健一
宇田川 充
B S 行田 1
BSさいたま212
BSさいたま13
B S 狭山 2
BSさいたま9育成会
BSさいたま226育成会
BS飯能3育成会
守光院 木村正幸
(株)氷川八幡神社新倉
(株)昭和製作所
毎日興業(株)

坂本 裕夫
樋渡 重和
菊池 清
角尾 雅也
栗原 均
石山 貴宣
田中 政司
男澤 望
高橋 健一
宇田川 充
B S 行田 1
BSさいたま212
BSさいたま13
B S 狭山 2
BSさいたま9育成会
BSさいたま226育成会
BS飯能3育成会
守光院 木村正幸
(株)氷川八幡神社新倉
(株)昭和製作所
毎日興業(株)

【秋田】

安田 孝司
木村 那樹
糸屋 幸隆
津谷 正毅
小場 文明
川尻 孝昭
熊谷 正司
中川 猛夫
東海林 正雄
渡部 訓之
(株)秋田クボタ
東光鉄工(株)

BSさいたま13
B S 狭山 2
BSさいたま9育成会
BSさいたま226育成会
BS飯能3育成会
守光院 木村正幸
(株)氷川八幡神社新倉
(株)昭和製作所
毎日興業(株)

BSさいたま13
B S 狭山 2
BSさいたま9育成会
BSさいたま226育成会
BS飯能3育成会
守光院 木村正幸
(株)氷川八幡神社新倉
(株)昭和製作所
毎日興業(株)

【山形】

大沼 保義
(株)山形新聞社
山形放送(株)
【福島】
五十嵐 康善
村上 正人
【茨城】
吉永 行輝
横川 浩
平澤 正則
菅原 英幸
関彰商事(株)
【栃木】
中臣 正範
齋藤 幸男
新井 政一郎
石川 秀忠
櫻井 政義
立正佼正会鹿沼教会

BSさいたま13
B S 狭山 2
BSさいたま9育成会
BSさいたま226育成会
BS飯能3育成会
守光院 木村正幸
(株)氷川八幡神社新倉
(株)昭和製作所
毎日興業(株)

BSさいたま13
B S 狭山 2
BSさいたま9育成会
BSさいたま226育成会
BS飯能3育成会
守光院 木村正幸
(株)氷川八幡神社新倉
(株)昭和製作所
毎日興業(株)

【群馬】

新井 三知夫
國時 武
林 高行
船津 保雄
新藤 洋一
荻原 幸雄
【埼玉】
三日月 勝三
渡辺 修
西山 繁夫

BSさいたま13
B S 狭山 2
BSさいたま9育成会
BSさいたま226育成会
BS飯能3育成会
守光院 木村正幸
(株)氷川八幡神社新倉
(株)昭和製作所
毎日興業(株)

BSさいたま13
B S 狭山 2
BSさいたま9育成会
BSさいたま226育成会
BS飯能3育成会
守光院 木村正幸
(株)氷川八幡神社新倉
(株)昭和製作所
毎日興業(株)

高輪 真澄
大野 茂
古谷 真一郎
杉野 健一郎
北爪 太圭司
青木 弘子
守安 信介
増田 嘉一郎
岸 伊佐雄
清水 正充
近藤 信行
岡村 奈守
浅野 正
松浦 克昌
今井 達
井上 正行
林 栄治郎
谷道 龍彦
藤本 晃
菅原 雅雄
大石 和夫
小山 浩伸
中山 道則
稲垣 秀明
波谷 俊徳
横田 武憲
大森 和潮
平本 勝哉
松尾 和英
余多分 正敏
平石 和男
久保田 康弘
岡田 勇次
黒岩 達夫
大神 久二
齋藤 茂彦
山並 勝彦
木村 高弘
萩原 謙
細野 泰司
重信 千春
栗芝 一八
松平 頼昌
松本 秀夫
永井 敏
大坪 邦雄
今泉 哲也
平方 敏道
小林 和彦
大村 郁夫
古川 久生
宇津木 太
島山 眞樹子
川口 正博
菊池 悠機
櫻井 康博
漆原 博幸
安一 文一
小菅 勇一
依 秀明・利子
江原 光一
荒木 秀幸
杉野 いつ子
久保田 弘子
山田 想
大井 康裕
柳沼 大介
木村 行伸
岡本 照夫
岡山 稔枝
理容 ひかる
B S 大田 4
B S 台東 2
B S 西東京 2
B S 足立 4
B S 小金井 2
B S 練馬 7
B S 大田 3

B S 国分寺 1
B S 品川 6
B S 品川 8
B S 立川 3
B S 大田 6
さくら地区スカウトクラブ
大多摩クラブ代表
山崎常雄
華厳院 矢田融海
東京東信用金庫
町田デザイン専門学校
(株)KPMGFAS
(株)立川印刷所
(株)立川井上商店
(株)ジーティエヌ
新宿運輸商事(株)
渋谷商工(有)
【新潟】
黒田 玲
高橋 剛
金澤 理久夫
本間 守
井上 法英
西澤 哲司
三浦 伸一
伊里 和高
高橋 周一
平田 則行
伊藤 聡
五十嵐 睦雄
吉田 至夫
池 淳一
増川 隆志
小林 基
藤塚 大造
尾崎 千尋
杉山 剛
本間 清
新潟県神社庁
(株)新潟総合学院
(株)弥彦神社
(株)愛仁会 龜田第一病院
石本金属(株)
(株)本間組
(株)七里商店
(株)アートグラフィック新潟
麒麟山酒造(株)
セコム上信越(株)
(株)応用電業社
(株)第一印刷所
新発田ガス(株)
テック海発(株)
岩井会計事務所
岩井和夫
(株)ブルボン
新潟駐車場(株)
(株)江口屋
(株)新潟クボタ
石本酒造(株)
(株)新潟日報社
(株)タカヨシ
朝日酒造(株)
堀川建設(株)
中央ビルディング(株)
【富山】
BS富山県連盟
川田ニット(株)
【石川】
改田 秀一
若杉 幸平
池田 壽男
水野 二郎
高村 昌克
林 矩了子
矢敷 雄一
西 中記 章(株)
【福井】
古市 謙三
西 法男

岩堀 嘉和
齊川 忠男
川縣 年博
羽木 秀樹
細川 式部
【長野】
金子 元昭
西田 不折
林 一男
松本 捷幸
村田 富士雄
藤川 育宏
矢口 恒善
武田 清孝
花岡 浩司
B S 茅野 1
B S 富士見 1
富士コムテック(株)
(株)東郷堂
【岐阜】
北條 昌彦
木村 芳郎
川田 基弘
広瀬 之彦
駒津 敏誠
浅野 一行
加藤 誠亮
服部 正次
勝野 雅和
渡辺 芳弘
松岡 弘道
改田 智行
加藤 憲
三浦 英夫
蒲生 健司
日比野 守
金子 佳弘
虫賀 友則
工藤 琢也
加藤 芳克
高井 史樹
水野 和樹
B S 多治見 1
(-) 助日本BS岐阜県連盟
中部事務機(株)
名鉄観光バス(株)
岐阜支店
(株)マルエイ
アサヒ繊維工業(株)
(株)スガキ工業所
【静岡】
大橋 光男
大須賀 和美
土山 尚道
柴田 隆昭
田代 靖夫
大川 靖護
岡本 直樹
齋藤 斗志二
川島 一郎
杉山 盛雄
吉川 雄二
富田 三代治
脇坂 茂
土山 惟之
永田 通児
佐野 信宏
西村 清矢
和田 篤夫
深津 啓重
脇坂 英子
松田 茂
正 義


太田 浩三
山崎 茂樹
金森 啓二
村松 清一
高村 賢一
前田 左近
田中 寛
渡邊 聡
鈴木 典江
油井 和行
小笠原 妙香
【愛知】
宇野 眞之
神原 孝治
伊藤 利生
加賀 昌之
鈴木 睦
斉藤 茂美
加藤 禎男
岩田 明
三井 信之
太田 和宏
梅村 幸次
熊沢 宏次
井土 清秀
井上 和一
石原 真二
生田 亮俊
渡辺 正次
西洞 孝尾
伊藤 康之
波多野 俊彦
林 悦子
沼澤 光男
小澤 清勝
寺原 久男
川口 由美
伊藤 澄雄
加藤 忠雄
佐野 守彦
東頭 信夫
高多 章夫
船橋 鐸幸
八木 幸雄
今井 芳夫
池田 典夫
池田 公子
北川 敏崇
藤田 智康
藤田 康尊
増岡 扶美子
河内 和広
福安 金之助
秋月 雅仁
神原 肇
山田 貞二
林 雅彦
井上 和俊
中村 直樹
岡戸 拓洋
鈴木 幸一
佐藤 慶子
榎尾 富二
野村 政司
中山 和歌代
近藤 哲史
村上 安德
伊吹 登
渡辺 久高
伊奈田 光春
水谷 惠至
神原 敏雄
堀崎 健治
大原 和生
鈴木 和義
神谷 政明

牧加賀 敏之
西尾 浩司
岩井 勝
郷司 朋明
椎葉 浩志
杉田 勤一
藤井 和文
中村 里美
岡本 克人
岡田 一
中出 尚彰
長谷川 榮一
石坂 純一
佐藤 孝明
杉江 宣明
浅井 崇義
寺部 匡則
鈴木 勇夫
川上 次朗
土川 保夫
竹内 正純
小川 俊之
佐藤 信夫
安藤 秀一
B S 豊橋 1
B S 豊川 1
B S 常滑 8
B S 津島 3
B S 大府 3
B S 岡崎 12
B S 岡崎 1
B S 豊川 4
BS北名古屋2
B S 田原 1
B S 大治 1
B S 東浦 2
BS名古屋79
B S 大府 2
B S 瀬戸 6
BS名古屋87
B S 犬山 7
BS名古屋31
B S 半田 5
B S 半田 7
B S 江南 3
B S 稲沢 4
BS名古屋71
BS岡崎3育成会
BS長久手1育成会
BS西尾12育成会
BS稲沢6
国府宮スカウト育成会
BS西尾11育成会
愛知スカウトクラブ
名鉄観光バス(株)
大東工業(株)
福玉精穀倉庫(株)
松井建拓(株)
(株)アヤボ
(株)カミヤマ
天野エンザイム(株)
【三重】
生田目 元司
服部 久司
山本 幹
森 淳之祐
金山 修
松本 秀樹
中村 敏一
田口 竜太郎
梅川 逸人
宮崎 律子
川北 博文
樋口 晃嗣
吉田 則幸
金山 和代

筒井 まゆみ
B S 伊勢 7
BS四日市15育成会
BS伊賀1育成会
BS亀山4育成会
OKでんき
岡田正樹
(株)アレクシード
堀田建設(株)
(株)太田コンクリート
(株)田口製作所
【滋賀】
中野 幸彦
小森 悦男
森 賢
岡田 寛
吉久 義則
小菅 邦彦
木村 誠一
深田 清一
【京都】
福原 洋
篠田 常生
國友 政治
浅川 栄治郎
西村 伸次
柳澤 雅也
荒尾 千玄室
猪岡 敏一
山下 琢
西田 章夫
津田 容太朗
赤瀬 由貴
風間 優博
清水 博
三木 一暁
辻野 正通
森川 勇一
檜原 良
池村 将勝
渡辺 孝史
石清水 八幡宮
(株)公益社
【兵庫】
山田 知輝
横野 雄美
池田 久雄
在田 昌行
喜多 敬
富永 章義
松栄 徹
中島 佳一
山田 明良
野上 一恵
黒田 茂
奥田 実
重井 宣行
荒川 清治
池田 純雄
本多 博司
安積 英二
新戸 建男
西脇 龍荘
毛房 稔
田邊 千尋
喜田 浩巳
喜田 光信
鈴木 武
河原 淳
高木 敬三
山口 裕子
光永 宣之
原田 知典
等 讓岐
片山 邦信
安藤 雅夫
龜山 隆



池澤 栄次郎 赤松 由久 吉 知子 小玉 一夫 野々村 禎之 朝倉 美穂 射延 敏昭 中内 仁 松尾 光明 片山 紀彦 南波 芳樹 藤川 晴代 藤 篤弘 沖塩 和弘 有未 健児 伊藤 地 佐藤 光豊 高田 真志 沼田 政子 遠藤 航 尾藤 勝重 松本 輝明 大西 美紀 田路 直也 福岡 和明 鹿島 克弘 西井 秀行 藤井 草乘 橋爪 平井 志茂 松彦 全田 誠孝 岩田 宏之 浅木 幸雄 高橋 貞美 松本 一郎 高橋 正幸 宮里 健 BS神戸43育成会 トヨタコーポラ短路(株)	松 下 森 八 武 雄 森 本 井 八 八 八 岩 井 均 均 均 増 井 賢 賢 賢 田 敏 敏 敏 中 西 達 達 達 細 川 雅 基 前 田 昌 彦 辻 村 泰 善 松 本 安 嘉 田 中 稔 昇 山 本 昇 昇 吉 田 前 一 池 島 勉 林 好 勉 松 村 優 松 村 知 子 奈 良 ト ヨ タ (株) サンディスト(株)	和 田 憲 和 酒 井 孝 之 仲 岡 好 雄 新 屋 美 穂 松 岡 秀 典 中 谷 和 紀 (株)高山寺代表役員 曾我部 大剛 三木理研工業(株) (株)山本進重郎商店	ダイキン工業(株) 【鳥取】 田 村 幹 夫 島 村 一 郎 瀬 尾 稔 明 堀 部 晴 彦 浦 島 勉 鳥 飼 敏 博 福 田 京 子 田 邊 洋 一 山 岸 正 明 島 田 薬 品 (株) 【鳥根】 中 澤 梧 郎 千 家 隆 比 古 中 村 寿 夫 岩 田 春 子 池 央 ス カ ウ ト 育 成 会 出 雲 大 社 宮 司 千 家 尊 祐 出 雲 大 社 教 官 長 千 家 隆 比 古 (株)杉原本店	【広島】 壺 岳 文 悠 木 村 幸 雄 中 川 元 慧 安 部 孝 次 郎 中 川 惠 利 難 波 壽 則 橋 本 貢 福 島 達 暁 竹 内 章 酒 井 幸 雄 山 崎 壽 之 森 本 直 彦 小 鷹 狩 正 八 小 川 悦 伸 桑 原 幸 夫 関 川 孝 文 山 城 建 二 藤 山 永 明 藤 間 幹 夫 BS安佐4育成会 西 光 寺	西 山 次 郎 秋 岡 芳 孝 山 根 義 孝 日 産 化 工 業 機 械 有 限 公 司 代 表 取 締 役 会 長 小 川 英 治 【香川】 村 上 清 宣 橋 本 重 雄 湖 崎 武 敬 今 田 守 嶋 田 鈴 枝 菅 原 良 直 十 河 直 弘 大 須 賀 誠 本 田 紘 一 岡 内 清 弘 小 川 秀 憲 天 雲 俊 夫 丸 山 豊 史 松 平 頼 昌	山 領 正 太 生 田 和 嘉 子 磯 野 和 夫 山 田 博 信 阿 部 智 起 瀬 尾 元 治 御 田 良 知 城 戸 高 弘 松 尾 博 史 B S 春 日 1 B S 福 岡 4 B S 北 九 州 5 1 B S 遠 賀 3 B S 北 九 州 1 4 BS福岡20育成会 BS筑紫2育成会 BS那珂川1育成会 筑紫農業協同組合 福岡興業(株) 西岡総業 西日本美装工業(株) 三池物産(株) (株)フジグリーン	池 本 要 津 曲 睦 己 橋 田 和 実 小 倉 和 彦 山 口 洋 一 七 牟 礼 純 一 【鹿児島】 川 畑 善 照 林 洋 市 稗 田 将 也 藏 元 靖 三 (株)ミズホ商会 ネットヨロ鹿児島(株)	【沖縄】 湧 川 昌 秀 仲 嶺 眞 情 宮 里 博 史 名 幸 俊 海 島 袋 洋 宮 里 啓 和 里 平 秀 彰 沖 縄 ガ ス (株)	川 瀬 茂 己 脇 関 一 榎 原 惠 子 榎 原 多 香 人 森 川 徹 治 麻 植 茂 相 原 光 治 本 郷 順 子 瀧 澤 賢 司 幸 田 学 山 口 陽 大 坪 文 雄 柴 田 知 栄 B S 大 阪 1 2 3 (公)昭和地田記念財団 (一社)日本経済団体連合会 (公)日本ユニセフ協会 大本山 總持寺 神 明 幼 稚 園 (株)淡澤徽章製作所 共 立 印 刷 (株) 尾崎織マーク(株) 東洋紡せんい(株) 第一企画印刷(株) (株)全音楽語出版社 カワイ出版部 セロホルデン(株) アルプスアルパイン(株) アサヒグループ ホールディングス(株) (株)仙台銘板 (株)ANABAS (株)保険あつとび プラネット 米沢電気グループ (株)玄プランニング
--	---	---	---	--	---	---	--	--	--

 <p><b>マンスリーサポート維持会員</b></p> <p>毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。</p> <p><a href="https://www.scout.or.jp/support/04/">https://www.scout.or.jp/support/04/</a></p> <p>7~8月に入会または1年継続された方々です。</p>	<p>【栃木】 飯 塚 哲 史 【埼玉】 市 ノ 川 武 志 【千葉】 片 寄 朗 熊 谷 豊 宇 治 隆 雄 平 田 玲 子 坂 口 昇 次 片 平 紀 行</p>	<p>【神奈川】 吉 川 純 渡 邊 哲 幹 【東京】 佐 藤 武 信 村 山 大 介 大 久 保 秀 人 塩 月 崇 雄 井 沢 啓 一 塩 川 晃 平 木 島 敬 夫 佐 々 木 ま 子</p>	<p>唐 澤 弘 至 【新潟】 米 山 信 【福井】 酒 井 一 成 水 中 静 以 智 【静岡】 高 崎 浩 太 郎 近 藤 由 美 子 【愛知】 平 野 嘉 彦 大 前 庄 司</p>	<p>高 橋 理 佳 【三重】 河 村 清 志 大 竹 ま り 【京都】 高 橋 一 郎 【兵庫】 平 脇 幸 雄 【奈良】 小 城 浩 充 辻 本 有 哉</p>	<p>【大阪】 赤 塚 広 之 橋 川 淳 一 豊 澤 明 宮 本 智 喜 【岡山】 高 崎 式 子 横 山 卓 生 【広島】 大 下 賢 一 【熊本】 外 戸 口 利 行</p>	<p>倉 岡 征 宏 【宮崎】 山 本 卓 也 齋 藤 謙 【日本】 村 井 は る か 木 本 史 郎 飯 塚 哲 史</p>
--	---	---	--	--	--	--

# 新春誌上 名刺交換のご案内

次号の「スカウティング」(2023年1月号)に、新年恒例「新春 名刺交換」のページを設けます。全国のスカウト関係者への年始のご挨拶として、年賀状代わりにぜひご利用ください。皆さまのお申込みをお待ちしております。

**例** 謹賀新年 今年もよろしく  
ボーイスカウト□□□□連盟○○○○地区  
委員長 **鈴木 一 朗**

〒167-0022 東京都杉並区下井草4丁目4番3号  
tel 03-6913-6262 E-mail scouting@scout.or.jp

- 規格：1口 24mm×62mm (横型)
- 掲載料：1口 8,000円 (税込)
- メ切：2022年11月18日(金) 必着 ※①②ともにお送りください
  - ① 原稿：Eメール、郵送にてお送りください。お申込みは、最大66口(1頁 33口×2頁/見開き)まで承ります。自筆原稿、イラスト、ロゴを入れることも可能です。企画サイズのデータを作成の上、ご送付ください。
  - ② 送金方法：下記いずれかの方法でメ切までにお振込みください。
    1. 郵便振替 00130-1-56119 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
    2. 銀行振込 三菱UFJ銀行 春日町支店 普通預金 No.0383873  
みずほ銀行 本郷支店 普通預金 No.2855005
 ※いずれも口座名は「公益財団法人ボーイスカウト日本連盟」
- お申込み・お問い合わせ先  
ボーイスカウト日本連盟事務局「スカウティング」担当  
03-6913-6262 (代表) / Eメール scouting@scout.or.jp



広告

祝 100周年  
ボーイスカウト日本連盟

# WANIMARU 和爾丸 ーわにまるー 南洋航海記

日本海洋少年団 和爾丸一万三千海里

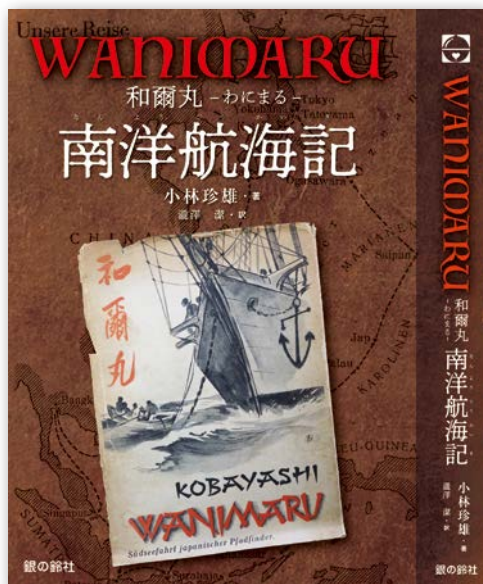
小学校高学年以上

A5判/264頁/定価1,650円(本体価格:1,500円)

## 受け継がれるスカウトスピリット

1934(昭和9)年、少年団日本連盟が海洋少年団から選抜した12歳~18歳の少年17人は、168トンの小さな帆船で、赤道を越えて13,000海里を航海しました。

この南洋航海は、マニラ、サイゴン、バンコク、シンガポール、パラオなどの少年団との交歓を通じた、少年たちによる積極的な平和外交が目的でした。



小林 珍雄 著  
瀧澤 潔 訳

日本子どもの本研究会選定

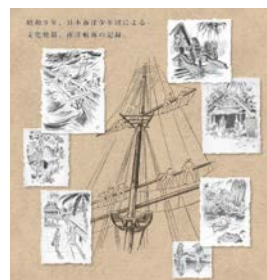
令和3年度

神奈川県児童福祉審議会推薦図書



帆船和爾丸の航海図

この本は、1937年にドイツのヘルダー書店から刊行された「WANIMARU」小林珍雄著の初の日本語訳です。著者は通訳として和爾丸号に乗り、行動を共にしました。



さし絵24枚で楽しく読めます。

全国の書店、インターネット (Amazon など)、または出版社 (下記) でご注文いただけます。



アート&ブックス  
銀の鈴社

<https://www.ginsuzu.com> 〒248-0017 神奈川県鎌倉市佐助1-18-21 万葉野の花庵 TEL 0467-61-1930

## SCOUTING デジタル配信しています!

機関誌『スカウティング』のデジタル版 (PDF) を、読者の皆さんを対象に配信しています。デジタル版は、文字もそのままコピーできるので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご活用ください。

URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>



2023  
No.753  
1

## SCOUTING

次号予告

次号の『スカウティング』は、令和5年1月1日発行

## 踏み出せ、新たなる一步

「100周年」の先へと進んでいくこの運動の最新情報や、各地の盛り上げの様子をお届けします。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局  
「スカウティング」投稿係

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

電話 03-6913-6262 (代表) Eメール [scouting@scout.or.jp](mailto:scouting@scout.or.jp)

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

「スカウティング」2022年11月号 No.752 令和4年11月1日発行  
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

「スカウティング」は、全国のボーイスカウト指導者(兼指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の振り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月~8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月~翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号~9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局「スカウティング」担当にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。詳しくは日本連盟 Web サイト <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2022/写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局広報担当(代表 TEL: 03-6913-6262)までご連絡ください。

日本連盟Webサイト <https://www.scout.or.jp>

### ◎訃報

日本連盟相談役、世界スカウト財団理事 荒尾 雅也

日本連盟理事・事務局長としてご尽力いただいた荒尾雅也氏が令和4年9月22日、逝去されました(享年90)。謹んでご冥福をお祈りいたします。



### 荒尾さんを偲んで

荒尾さんに初めてお会いしたのは昭和62年5月でした。世界のソニー創業者、井深さんを理事長に迎えると同時に、事務局長になられたのが荒尾さんでした。歴代の事務局長がほとんどボーイスカウト経験者だったので、未経験者の荒尾さんにとっては多分大変だったと思います。私と荒尾さんとは、韓国で開かれた第17回世界ジャンボリー、久住で行われた第11回日本ジャンボリー等ご一緒いたしましたが、特に印象に残っているのが滋賀県「あいはら」で開催された第3回シニアスカウト大会です。というのは、荒尾さんはこの大会に参加するシニアスカウトのために、ソニーミュージックに依頼して世界的トランペッターの日野皓正さんを

呼んでくれたのです。ところが、会場が野外のため音響・照明等设备に大変な費用がかかるのと、高校生年代は気まぐれだから、果してトランペッターに興味を感じてくれるだろうかとお実心が心配されました。結果は、費用は荒尾さんがクリアしてくださり、そしてさすが世界の「日野皓正」。本物の演奏に参加スカウトは感動し感激し大成功に終わり、本当に荒尾さんのお陰で、参加したシニアスカウトの心に一生残る思い出になったことでしょう。その荒尾さんは2002(平成14)年に日本連盟を代表して世界スカウト財団理事に就任され、亡くなられる迄務められました。荒尾さん、37年間本当にご苦勞様でした。安らかにお休みください。

日本連盟先達、和歌山連盟 連盟長、元 日本連盟 副理事長 山本 一郎



# 創立100周年記念グッズ 新商品発売のお知らせ

## オリエンテーリングコンパス 1N 100周年

販売価格：2,200円

読図のために必要な機能を追加した、100周年記念ロゴ入りの特注のコンパスです。2cm方眼、日本国内の磁北線の角度を書ける角度線や定規などを本体に盛り込みました。方位リングはルミノバ蓄光になっており、夜間でも視認可能です。

■商品サイズ（H×W×D）：（84×54×10mm） ■重量：27g

好評販売中！商品詳細は公式オンラインショップへ

【SCOUT SHOP JAPAN】 <https://www.scoutshop.jp/>

## 100周年記念 復刻ワッペンセット

販売価格：2,200円 <限定2,000個>

少年団日本連盟記章が、100周年を記念して限定で復刻。復刻記章2種に、100周年記念ワッペンがついた3種セット限定台紙付きの特別仕様。

■商品サイズ（展開）：A4（210×297mm）

# 2023スカウトカレンダー発売決定！ 今回のテーマは【Scouting is Smile】

12月中旬発売予定、鋭意制作中！続報をお待ちください。



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan





貴重な文化財の高精細複製品制作と、その作品を使用したワークショップを寄贈先と共同開催「綴プロジェクト」



自然や環境に対する子どもたちの意識を高める写真教室「ジュニア・フォトグラファーズ」



九州全域のスポーツ振興を通じた社会貢献を目的に、皆様に愛されるチームをめざす「キャノンアスリートクラブ九州」



多くの人に感動と勇気を与える世界最大級の車いすマラソン大会「大分国際車いすマラソン」

# 喜びや感動を、みなさまと。

すべての人々が、豊かに暮らしていける社会のために。

キャノンは、芸術、文化、教育、スポーツなど、  
さまざまな社会貢献活動を行っています。

**Canon**

make it possible with canon